

佐賀県知事 様

住 所 東京都千代田区大手町2-6-2
団 体 名 特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル
代表者職・氏名 理事長 林 恵子
電話番号 03-6842-6766

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年2月4日付け県協第2126号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和3年度寄附金活用実績報告書

事業名	佐賀県内の児童養護施設等入所者・退所者向けの自立支援事業
寄附受入額	550,000 円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
4月-通年施設等入所・退所者向けの自立支援事業等 4月-通年 ボランティア登録会の企画、募集、実施。 4月-通年 佐賀県内の児童養護施設に対する施設営業 4月-通年 就労・職業体験・ボランティア・物品寄付など様々な形で活動を支援する企業の開拓営業 5月-通年 退所後の若者をマンツーマンで支える「自立ナビゲーション」の実施 5月、6月 佐賀県内の児童養護施設 中学生、高校生向けの「キャリア準備講座」の実施 8月 佐賀県内の協力企業での中学生、高校生向けインターンシップの実施 8月～2月 佐賀県内の児童養護施設在所中の高校3年生向けの集合型自立支援セミナーを開催 2月～3月 児童養護施設を卒園する高校3年生向けに生活必需品の寄付仲介を行う 12月～3月 ボランティア向けに自立サポートスタッフ養成講座の企画と実施	
事業実施の成果・効果 (見込み)	
※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。 児童養護施設を卒園する高校生に、よりリアルな自立のための知識が身につく。同じく児童養護施設を卒園する高校生に、卒園後相談できる社会資源のひとつとしてブリッジフォースマイルという存在があると認識してもらえる。児童養護施設で暮らす中学生高校生のキャリア教育、就労に向けての支援が手厚くなる。佐賀県で児童養護施設についての理解が広がり、偏見が払拭される。 <実績> ・高校3年生を対象とした「巣立ちプロジェクト」17名参加 (8月から毎月セミナーを全6回実施) ・施設を退所する若者15名に 商品種類23、商品数73点の生活必需品の提供、退所した若者へ生活家電、成人式記念のプレゼント等の仲介を行った。 ・中高生を対象としたキャリア準備講座を2回実施 (合計28名の参加)、地元企業10社にも参加し、キャリア教育を実施した。 ・居場所事業を実施し、のべ78名が来所した。	

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		佐賀県内の児童養護施設等入所者・退所者向けの自立支援事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	550,000	第4回交付： 550,000円
	助成金	495,000	
		収入 計	1,045,000円
支 出	職員給与	299,812	佐賀スタッフ、東京スタッフ
	福利厚生費	26,544	
	宿泊費	6,000	
	謝金	20,000	ボランティア研修 講師料
	旅費	51,706	東京スタッフの交通費、ボランティア交通費等
	印刷製本費	4,210	
	消耗品費	520,728	施設退所児童への生活必需品購入
	返礼品等の調達に係る費用	60,000	
	返礼品等の送付に係る費用	6,000	
	IPアドレス支援費	50,000	
		支出 計	1,045,000円

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。